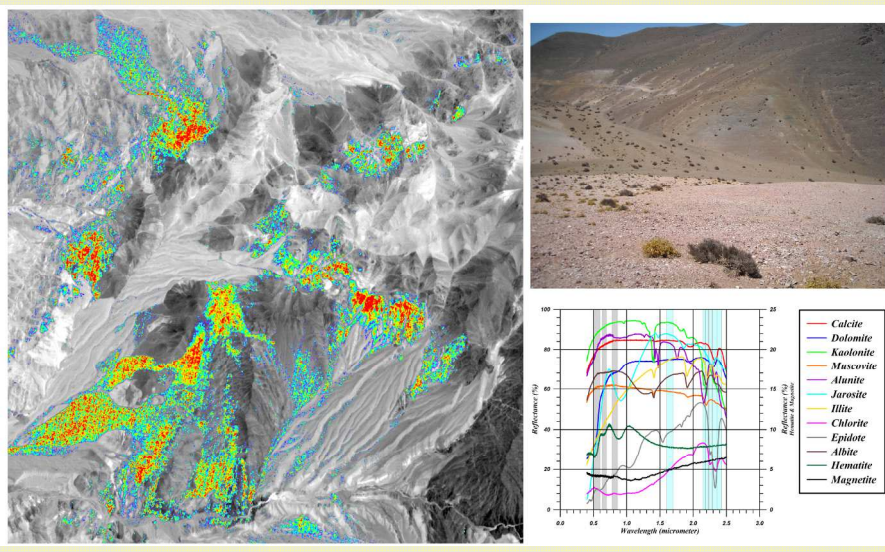


リモートセンシング・衛星画像解析 (Remote Sensing)

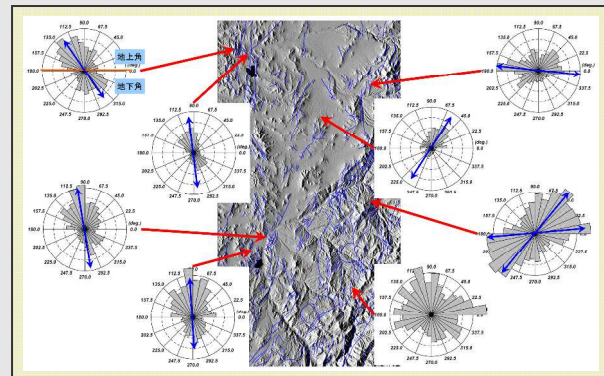
人工衛星に搭載されたセンサで取得した
画像を解析し、広域の情報収集を行う技術

技術概要

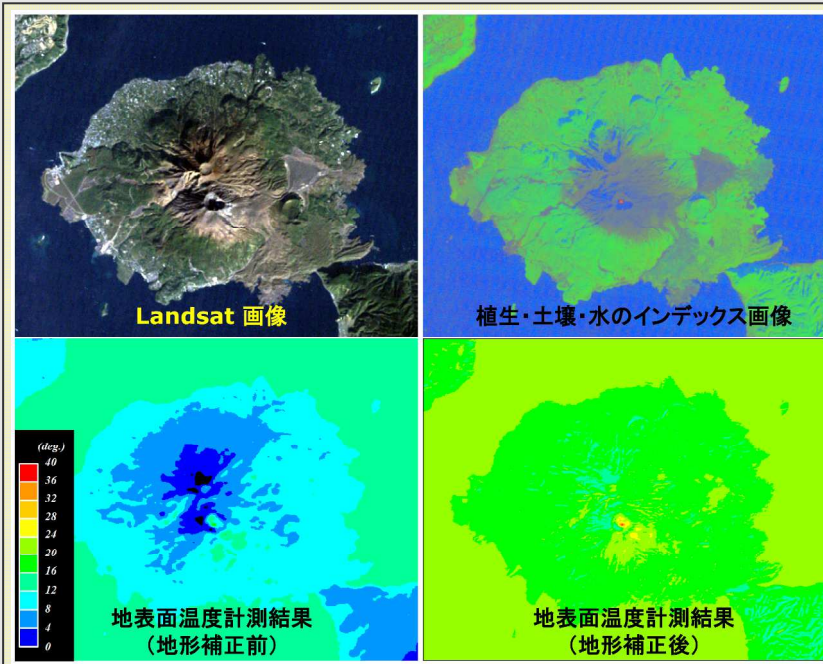
人工衛星に搭載された光学センサやレーダセンサは、数 m 程度の高い空間分解能で、数十～数百 km 四方の広範囲の地表情報を記録し、画像化します。リモートセンシングでは、衛星画像を解析することにより、地球上のあらゆる地域の情報を遠隔的に収集することが可能で、人工衛星が周期的に地球を周回しますので、地表状況の定常監視に応用できます。



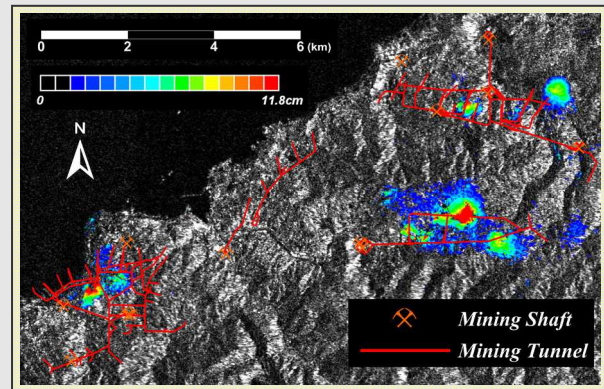
短波長赤外域のデータを用いた熱水変質の抽出



数値標高モデルを用いた地形解析



熱赤外域のデータを用いた地表面温度計測



合成開口レーダの差分干渉解析による地盤変動計測

適用分野

リモートセンシングは、資源探査活動（石油・天然ガス、金属鉱物、地熱、石炭ほか）の初期探鉱における情報収集（変質帯や断層、地形等の把握）や防災・環境分野の定期モニタリング、有事災害時の早期被害把握などに利用されます。

お問い合わせ



日鉄鉱コンサルタント株式会社

本社 〒108-0014 東京都港区芝四丁目 2-3
TEL 03-6414-2760 (代表) FAX 03-6414-2770
本社・物理探査部
TEL 03-6414-2766 FAX 03-6414-2772

担当：出口



日鉄鉱コンサルタント株式会社